



外来種から山を守ろう

19日

利尻島におけるコバノハイキンポウゲの記録は、五十嵐博さん（北海道野生植物研究所）による1999年の北麓野営場からの登山道調査に遡ります。当時、甘露泉水までの遊歩道工事により芝生が導入され、そこに「小型でランナー（地上茎）のあるキンポウゲ属」が花を咲かせるようになり、その後、これらの花は外来由来のハイキンポウゲとして、コバノハイキンポウゲという名称が提唱されました。登山道のスタート地点に外来種が自生していること、さらには、外来種対策としてせっかく設けられた登山者向けの「靴洗い場」の上部に自生しているため、利尻山への影響も踏まえて、少なくとも2009年には防除作業が利尻島自然情報センターなどによって開始されており、ここ数



年は利尻町立博物館と利尻富士町教育委員会の共催による事業として「海の日」に防除会が実施されています。これまでの防除活動でだいぶ下部までその分布を狭めることができていますが、根絶はまだまだです。特定外来種オオハンゴンソウは

大きくなるとかなり抜くのに苦労しますが、コバノハイキンポウゲは地上茎をうまくたどっていくと芋づる式にズルズルと抜けるため爽快感もあります。今年は7/19（土）に実施予定ですので、ご都合つきましたらぜひご参加いただければ幸いです。

コバノハイキンポウゲ外来種防除会【日時】7/19（土）9:30～11:15。雨天・悪天時は中止にします。【集合】北麓野営場の駐車場付近（外来種防除のノボリを持って立っています）。【申込】博物館（0163-85-1411）まで、（1）氏名、（2）当日の連絡先電話番号とともに申し込みをしてください（先着20名前後）。申し込みは7/16（水）までとします。天候などによる中止の判断は7/18（金）午前中に行う予定です。【防除区域】北麓野営場～甘露泉水までの歩道脇。【持ち物・装備など】作業用の軍手または厚めのゴム手袋。当日の気象条件にあわせた服装、水分補給などの飲み物、虫除け、など。もしお持ちならば、草抜き道具もあると便利です。【作業の流れ】簡単な識別ガイダンスを行った後、基本的に最上部の自生地から抜き取りを開始していきます。途中休憩などもいれながら作業を行い、最後に防除数をカウントして解散予定です。【共催】利尻町立博物館・利尻富士町教育委員会。



光で虫たちを集めるライトトラップ

ライトトラップで昆虫観察

26日

新学芸員の富永です。いよいよ昆虫たちの活動が活発な季節になってきました。昆虫の調査法には様々な種類がありますが、その中でもメジャーなものの一つに昆虫が光に集まる性質を利用したライトトラップでの調査があります。ライトトラップでは蛾や甲虫、ハチなど、多様な昆虫が飛来するため、その地域の昆虫の多様性を垣間見ることができます。そこで、博物館では、利尻島の昆虫の多様性を体験していただくべく、今年度からの新事業として夜のライトトラップでの昆虫観察会を行います。普段あまり目にすることの少ない夜行性の昆虫も見られるかと思いますので、ぜひお気軽にご参加ください。もしかしたらクワガタなどの人気昆虫にも会えるかも・・・？

ライトトラップでの昆虫観察会【日時】7/26（土）19:30～21:00。雨天・強風の場合は中止いたします。【集合】19:30に仙法志中学校駐車場へ。【定員・申込】8名程度を予定。7/24（木）までに、お電話（博物館・85-1411）にて、（1）お名前、（2）前日・当日つながる電話番号をお知らせください。メールでの申込も可能ですが、確認等が遅れ

ることがありますので、ご了承願います。【持ち物・服装など】蚊などの吸血性昆虫もおりますので、虫よけスプレーなどの虫よけグッズ、また、お持ちの方は虫取り網や虫かごなどの昆虫採集・観察用具を各自で用意ください。夜間は冷え込むことが考えられますので、長袖長ズボンなどのあたたかい服装でお越しください。

大株に苦戦！

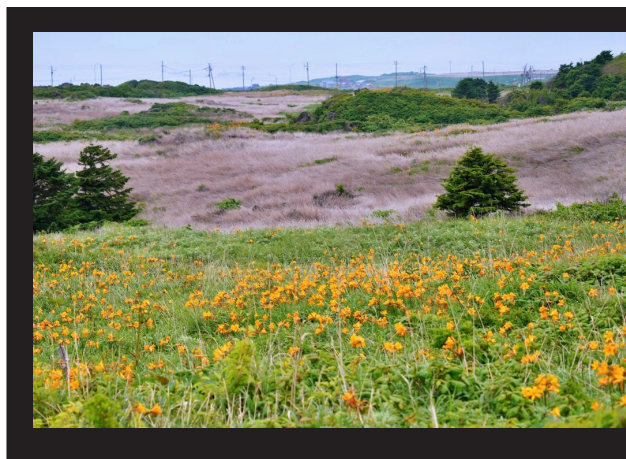
報告

＜オオハンゴンソウ防除会 悪天中止!→オンデマンド普及講座で実施＞外来種防除の本島における草分け的存在であった利尻島自然情報センターでは、外来種駆除の実績記録をつけてきました。主にそれは特定外来種オオハンゴンソウの駆除数についてであり、2001 年から本年までの合計数は 1,061,341 本に達しています。当初の推定本数が 300 万本ぐらいだったはずなので、25 年かけてその目標の 1/3 に到達したことになります。おそらく相当数のボランティアさんがこの作業に加わってくださったはずで、その 1 本 1 本の抜き取り努力の成果が、100 万本達成につな



がりました。あらためてその努力に敬意を表したいと思っております。

さて、今年も種富湿原での防除会を 6/7（土）に予定していたところ、残念ながら悪天中止となってしまいました。しかし、参加申込をされていた方からオンデマンド普及講座を使った実施をいただき、6/10（火）に無事実施をすることができました。



一枚の写真

今年はエゾゼンテイカが当たりの年のようで、遠くからもオレンジ色の絨毯が広がる光景に思わず見惚れてしまいます。CG 合成でない、まさに「花の島」の光景、あと何十年もみられないかもしれませんので、ぜひしっかりと目に焼き付けておきたいものです。

ここ数年の重点区域は、(a) 新湊方面の道路沿い、(b) 駐車スペース脇の密生地帯（湿原への種子の供給源）、の 2 つだったのですが、あらたに駐車スペースの湿原側の比較的ジメジメとした場所 (c) がしばらく手付かずだったことから、株が大きくなっていることに気づき、今回は急遽 (b) と (c) を作業してもらいました。(b) は毎年のことながらオオハンゴンソウの「畑」状態なので、エゾイラクサのチクチク攻撃を避けながら、もくもくと作業を実施。一方、(c) は巨大株が点在し、通常の草抜き道具などまったく歯が立たないため、急遽、剣先スコップを用意し、両腕で抱えるほどの株に、みなさん悪戦苦闘の連続でした。激闘 2 時間で 1,222 本をなんとか防除し、最後はガッツポーズで記念撮影をして解散となりました。(c) 区域はまだまだ大株も残っているので、みなさまの次回の参戦、ぜひお待ちいたしております！

掲示板

リイシリの購読・閲覧 博物館のホームページにて、最新号のほか、過去 2 年分のバックナンバーを公開中。発行時に配信する「発行お知らせメール」もありますので、ご利用ください。ネット環境がない方の場合、利尻町内の方には無料でお配り

しているほか、町外の方には郵送料のご負担をいただければ定期購読も可能ですので、お気軽にお問合せ願います。

編集後記 今年は、ここ数年では比較的山に雪が残っている状況だったため、花の開花も遅れ気味だろうと思っていました。ところが、チシマザクラ自生地の開花調査に向かったところ、みごとに大ハズレとなり、ほとんどの花が散った後でした。既にミヤマザクラも満開に近い状態で開花しており、想定以上に開花は進行しているようです。(ま)

7・8月の休館日

7月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

7/7 と 8/18 はメンテナンスのため休館日となります。それ以外の 7～8 月の月曜日は臨時開館日となります。